

南海トラフ巨大地震総合研究グループ 第2回研究集会

日時：平成28年5月30日（月）13時～17時

場所：京都大学宇治キャンパス 防災研究所 連携研究棟3階大セミナー室

プログラム：1講演25分（質疑時間を含む）

第1部 13:00～14:55

趣旨説明（13:00～13:15） 澁谷拓郎（京大防災研）

南海トラフ巨大地震の研究において理学コミュニティに期待することー効果的な災害対応、復旧・復興のためにー（13:15～13:40） 牧 紀男（京大防災研）

海底地殻変動観測による南海トラフ巨大地震の固着域の推定（13:40～14:05） 石川直史（海上保安庁）

南海トラフ巨大地震のシミュレーション（14:05～14:30） 堀 高峰（海洋研究開発機構）

スロー地震と巨大地震の相互作用（14:30～14:55） 松澤孝紀（防災科学技術研究所）

休憩（14:55～15:10）

第2部 15:10～16:25

海溝軸近傍での海底地殻変動観測（15:10～15:35） 太田雄策（東北大学）

DONETによるモニタリングの現状と展望（15:35～16:00） 高橋成実（海洋研究開発機構）

拠点間連携共同研究（南海トラフ）のH27年度成果（16:00～16:25） 松島信一（京大防災研）

総合討論（16:25～16:55） 岩田知孝（京大防災研）